

女性活躍・働き方応援シンポジウムを開催しました！

茨城県では、ジャーナリストでAERA元編集長の浜田敬子氏を講師に、また、愛知県の運送業で多様な人材の活躍に取り組み、人材確保や事業拡大などの成果が出ている大橋運輸㈱の鍋嶋代表取締役社長などの皆様を招き、シンポジウムを下記のとおり開催いたしました。

なお、本シンポジウム動画は2月19日から3月29日まで「あなたにエール！～いばらき女性活躍・働き方応援ポータルサイト～」シンポジウムページでアーカイブ配信いたします。

開催概要

- 日時 令和6年2月15日（木） 13:00～15:50
- 会場 水戸市民会館 小ホール(水戸市泉町1丁目7番1号)※オンライン配信あり
- 参加者数 県内企業経営者・管理者・人事労務担当者など 171名
(会場参加：95名 オンライン参加：76名)
- 主催 茨城県 / いばらき女性活躍・働き方応援協議会
- プログラム

第一部 「令和5年度茨城県女性リーダー登用先進企業表彰」表彰式

○茨城県知事から表彰状の授与を行い、その後、受賞企業の取組をスライドで紹介

表彰区分	受賞企業名	所在市町村	業種
特別優良賞	海老根建設株式会社	大子町	建設業
	株式会社さわやか交通	水戸市	運輸業
優良賞	株式会社三富子ケース	ひたちなか市	製造業
	株式会社フジヨシ	筑西市	サービス業

※令和元年から令和4年までで15社を表彰

※受賞企業の概要や取組は以下の県ポータルサイトで公表しています。

https://yell.pref.ibaraki.jp/womanact/award_winning_company.html

第二部 基調講演「なぜ企業の意味決定層に女性が必要なのか」

・講師 浜田 敬子 氏 (ジャーナリスト)

【講演要旨】

- 意思決定層に女性が参画し、多様な意見が入ることで、組織の不正や不祥事などが起こりにくくなる。さらに同質性（同じような経歴を持つなど）が少ないと新たな視点の考え方が入りやすい。
- 女性の活躍を進める際によく言われるのは、女性優遇や男女の不平等ではないかとの意見であるが、日本のジェンダーギャップは125位であるため、女性にチャンスや期待を与えるのは、男女の不平等ではなく格差の是正である。

第三部 トークセッション

- ・ファシリテーター

遠藤 和 氏 ((株) キャリアアンドブリッジ 取締役)

- ・パネリスト

浜田 敬子 氏 (ジャーナリスト)

鍋嶋 洋行 氏 (大橋運輸 (株) 代表取締役社長)

小口 いづみ 氏 ((株) ヴィオーラ営業部 部長)

柳瀬 香織 氏 (海老根建設 (株) 代表取締役社長)

【トークセッション】

○各々の事例などを基に様々な立場のパネリストの意見を通じ、女性活躍や働き方改革の取組を進めるためにはどうすべきかディスカッションを行った。

【主な発言】

○中小企業は社長が言ってもなかなか社内には浸透しないが、継続的に言い続ける本気度が社内を変えていくことに繋がると考えている。

○建設業は資格取得が重要であり、キャリアを描きやすい特徴がある。女性にとって働きやすい業界であるが、それを知らない人も多いので、今後は、それをどのように広めていくかに重きを置いて取り組んでいきたい。

○管理職になる時には様々な不安があったが、なってみるとスケジュール管理がしやすく、残業も減った。さらに、新たな視点で物事を見られるようになり、管理職になって良かったと感じている。

○様々な制約があったことで建設ディレクターが生まれたり、女性の視点を活かしたサービスが考えられるなど制約はチャンスにもなることが証明された。

本件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

茨城県産業戦略部労働政策課 担当：森、會澤

TEL:029-301-3635 (直通) FAX:029-301-3649

表彰式



基調講演



トークセッション





【アーカイブ配信】について

もう一度ご覧になりたい方、当日ご覧になれなかった方は、
当日のライブ配信動画をYouTubeでご視聴いただけます。
期間限定：令和6年2月19日(月)～3月29日(金)
詳しくは、HPをご覧ください。



【アンケート】のご協力について

本日はご参加いただきまして有難うございました。
今後の参考にさせていただくため、皆さまからの
ご意見・ご感想をお聞かせください。

[アンケート回答はこちらから▶](#)

回答期限：令和6年2月23日(金)



「いばらき女性活躍・働き方応援協議会」 会員企業を募集!

県では、企業、関係団体、行政
が一体となって誰もが働きがい
を実感できる職場環境や、女性が輝
く社会の実現を目指して「いばら
き女性活躍・働き方応援協議会」
を運営しています。本協議会の趣
旨にご賛同いただける企業の皆
様のご応募をお待ちしています。



いばらき女性活躍
働き方応援協議会



- ・自社HPや名刺などにロゴマークを利用できます
- ・毎月メールマガジンで女性活躍や働き方改革に関する法改正やセミナー、各種支援策などの情報を入手できます

あなたにエール! ～いばらき女性活躍・ 働き方応援ポータルサイト～

県では、働き方改革や女性活躍
を進めたいと考えている企業経
営者、仕事と家庭を両立しながら
働きたいと考えている方、管理職
になることに不安を感じている働
く女性など、県内で働く皆様に
様々な情報をお届けしています!



掲載内容

- ・様々な業種・従業員規模の優良事例
- ・働き方改革、女性活躍に積極的に取り組む企業代表者へのインタビュー記事
- ・県内企業で活躍する女性社員へのインタビュー記事
- ・国、県、市町村の各種セミナー、助成制度、認定制度の情報 など



女性活躍 働き方 応援シンポジウム



2024年 **2月15日** 木
13:00▶15:50



プログラム

司会：有働 文子氏(フリーアナウンサー)

第1部 表彰式 (13:00～)

「令和5年度 茨城県女性リーダー登用先進企業表彰」表彰式
・授与 ・受賞企業の取組紹介

第2部 基調講演 (13:35～)

「なぜ企業の意思決定層に女性が必要なのか」
講師：浜田 敬子氏(ジャーナリスト)

第3部 トークセッション (14:45～)

ファシリテーター 遠藤 和氏(㈱キャリアアンドブリッジ 取締役)
パネリスト 浜田 敬子氏(ジャーナリスト)
鍋嶋 洋行氏(大橋運輸㈱ 代表取締役社長)
小口 いづみ氏(㈱ヴィオーラ 営業部長)
柳瀬 香織氏(海老根建設㈱ 代表取締役)

主催：茨城県／いばらき女性活躍・働き方応援協議会

茨城県女性リーダー登用先進企業表彰受賞企業

職場においてリーダーとなる女性人材の育成や管理職・役員への登用促進に積極的に取り組み、登用実績が優れている企業などを「茨城県女性リーダー登用先進企業」として表彰します。

建設業、大子町

海老根建設株式会社

従業員数28名(うち女性6名)、
女性管理職割合33.3%(産業平均3.5%)、女性役員1名

建設ディレクターの導入により 女性の職域を拡大

現場の技術者の負担を軽減するため工事書類作成業務等を担う「建設ディレクター」を導入し、フルリモートで勤務する女性が建設ディレクター課の管理職として活躍するなど、トップ主導で女性の職域拡大に取り組んでいる。

さらに、子どもの学校行事などで取得できる「子ども休暇制度」を導入し、育児と仕事を両立しやすい環境を整備している。

◆ 特別優良賞 ◆

運輸業、水戸市

株式会社さわやか交通

従業員数68名(うち女性19名)、
女性管理職割合25.0%(産業平均5.2%)、女性役員2名

女性ドライバーの積極採用、 資格取得を応援

日勤のみや短時間勤務シフトの導入、女性専用更衣室・手洗面などの女性が働きやすい労働環境を整備し、女性ドライバーの積極的な採用を実施している。

いばらき観光マイスターや運行管理者資格などの資格取得を積極的に支援し、資格を取得した女性が管理職に就任するなど、女性社員のキャリアアップにも積極的に取り組んでいる。

製造業、ひたちなか市

株式会社三富子ケース

従業員数10名(うち女性9名)、
女性管理職割合66.7%(産業平均5.5%)

ライフステージに合わせた キャリアアップ

パート社員から正社員、現在は工場長までキャリアアップした女性ロールモデルが在籍しているなど、スキルと実力に合わせた登用を実施している。

自発的な教育訓練の受講に対する教育訓練休暇(有給)の付与や、外部研修への積極的な派遣により、従業員の能力開発を支援している。

◆ 優良賞 ◆

サービス業、筑西市

株式会社フジヨシ

従業員数48名(うち女性33名)、
女性管理職割合100%(産業平均13.5%)、女性役員4名

職種に応じノウハウを活かした キャリア支援

キャリアコンサルタントの資格を有する代表取締役が自ら、派遣登録者を含めた社員のキャリア指導を実施するなど、社員のキャリア意識の醸成に努めている。

テレワークや子連れ出勤の導入など、仕事と家庭を両立しやすい労働環境づくりに取り組んでいる。



司会者

有働 文子氏

フリーアナウンサー

元茨城放送レポーター兼スタジオアシスタント。現在は、フリーアナウンサーとして、関東を中心にテレビやラジオ、イベントMC等幅広く活躍中。2021年4月より、毎週月曜日18時30分から放送中のLuckyFM 茨城放送「ノブホーム presents Lady go! いばらき〜明日へのステップ〜」パーソナリティを担当。働く女性にフォーカスし、専門家を招いての体験談やキャリア体験などを伺っている。2児の母。

基調講演

「なぜ企業の意思決定層に女性が必要なのか」



講師・パネリスト

はま だ けい こ 浜田 敬子氏

ジャーナリスト / 前Business Insider Japan統括編集長 / AERA元編集長

1989年に朝日新聞社に入社。前橋、仙台支局、週刊朝日編集部を経て、99年からAERA編集部。副編集長などを経て、2014年からAERA編集長。編集長時代はネットメディアとのコラボレーションや1号限り外部の人に編集長を担ってもらう「特別編集長号」など新機軸に挑戦。2017年3月末で朝日新聞社を退社し、世界12カ国で展開するアメリカの経済オンラインメディアBusiness Insiderの日本版を統括編集長として立ち上げる。2020年末に退任し、フリーランスのジャーナリストに。2022年8月に一般社団法人デジタル・ジャーナリスト育成機構を設立、代表を務める。2022年にソーシャルジャーナリスト賞受賞。「羽鳥慎一モーニングショー」「サンデーモーニング」「News23」などのコメンテーターを務めるほか、ダイバーシティや働き方などについての講演多数。著書に『働く女子と罪悪感〜こころあるべきから離れたら仕事はもっと楽しくなる』(集英社)、『男性中心企業の終焉』(文春新書)、『いいね! ボタンを押す前に』(共著)。

トークセッション



ファシリテーター

えん とう かず 遠藤 和氏 | 株式会社キャリアアンドブリッジ 取締役

1990年、津田塾大学卒業後、株式会社リクルートに入社。HR事業部門において、「とらばーゆ」などのメディア企画に従事する。その後、同社の地域活性化事業部において、中央省庁や地方自治体のコンサルティング事業に携わる。第二子を出産した2004年に、株式会社キャリアアンドブリッジを起業。以来、茨城県、沖縄県、千葉県などの自治体や、大手企業、全国の大学などでのキャリア開発支援、女性活躍推進、さらにはキャリア・コンサルタント育成支援に携わる。キャリア開発支援のテーマは、「大学生の就業意識醸成」、「自身の両立経験を生かした女性活躍推進」さらには「人生100年時代をふまえたミドルシニア層のキャリア自律」まで幅広い。女性活躍推進の領域では、グローバル企業を中心に、メーカー、金融、商社、流通、サービス業など、幅広い企業での活躍推進の支援実績を持つ。プライベートでは2児の母。

パネリスト

なべ しま ひろ ゆき

鍋嶋 洋行氏 | 大橋運輸株式会社 代表取締役社長

大学卒業後、地元信用金庫に7年勤務、妻の祖父創業の運輸会社に1998年4月入社、同年11月から代表取締役に就任。ES(社員満足向上)推進の中でダイバーシティ経営・健康経営を実施。2021年中小企業初の新・ダイバーシティ経営企業2.0プライムに選定。健康経営も2017年より健康経営優良法人5年連続認定・プライト500を受賞。個人では地域に生息するオオサンショウウオの川清掃や市民後見人、障がい者雇用促進に取り組む。



こ ぐち

小口 いづみ氏 | 株式会社ヴィオーラ 営業部長

1990年水戸市にあるスポーツクラブへ入社し総合受付で3年目より主任として勤務。1998年株式会社ヴィオーラへ転職し総務で5年間勤務。結婚し第一子を出産後には育児休業取得。復帰のタイミングで営業部へ異動し法人を中心に営業活動に従事。新規事業美容室向けのレンタルタオルの立ち上げや、日本一高級なおしぼりの新商品開発に従事。同社のロールモデルとして、女性がいきいきと働ける環境を目指して、自身の経験を活かしながら、制度や仕組みづくりに取り組む。大学生と高校生の2児の母。

やな せ か おり

柳瀬 香織氏 | 海老根建設株式会社 代表取締役

1995年、海老根建設に入社。2002年に取締役となり、2003年に代表取締役に就任。その後、(社)茨城県建設業協会「建女ひばり会」、初代会長に就任。茨城県働き方改革優良企業や、女性が輝く優良企業、地域未来牽引企業に認定されるなど、社員が働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組んでいる。また、現在は、若者に選ばれる企業になるために「ユースエール認定制度」取得に力を注いでいる。

